

迎春
1988 元旦



広報

いがしゆり



新春広報紙上座談会

古来から我が町の生活・経済は農業によって支えられてきました。しかし、国際的に農産物の自由化が進み、その影響を受け米価にあつては三十一年ぶりに値下げという最悪の事態を迎え、しかも唯一の支えである食糧制度は空前の灯に立たされています。

こうした現状から町では、良質米生産の推進や低コスト稲作の確立、複合経営としての畜産の振興など、可能な限りに農政の推進に努めています。農業を営むのはあくまでも農家個々であり、その発展は個々の努力にゆだねるほかありません。このため、今後の町の農業について農家の方々がどうとらえ、どう取り組んでいこうと考えているか：「広報ひがしゆり」では、水田農業確立対策が二年目を迎えるにあたり、本町の農家の方々から意見を聞き、町民共に明日の農業を考えようと「新春紙上座談会」を開きました。

なおこの座談会は、町内五人の農家の方々から意見を伺い、座談会風に編集したものです。(司会・広報係)

明日の農業に挑む

出席者紹介

遠藤 熊雄さん・新処

四十歳・専業農家

水田四畝、和牛十一頭

ササニシキを中心とする良

質米の栽培に取り組み、畜産との複合経営により農業を専業としている本町で数少ない専業農家。

小松 幸男さん・石高

四十七歳・第一種兼業農家

水田一・七畝、葉たばこ一

畝、和牛二頭

本町で一、二をあらそう葉たばこの大規模耕作者で、これまで1畝当たり千九百円台を確保。葉たばこの規模拡大により稲作との専業農業を目指している。

石渡 豊和さん・岩館

三十七歳・第一種兼業農家

水田三・一畝、京フキ四畝、

和牛二頭、その他マイタケ、ナメコ

ササニシキとあきたこまち

による良質米多収穫の実践者で、転作作物として京フキを栽培しその特産化を目指している。また、原木によるマイタケの栽培や、ナメコの栽培も手がけ、その規模拡大にも意欲をみせている。

阿部 陽悦さん・岩館

三十三歳・第二種兼業農家

水田一・五畝、和牛二頭、

その他京フキ、ブルーベリー

あきたこまちとササニシキの良質米を栽培し、その多収穫を目指している。また、転作物として単位面積当たりの収入の多い作物の栽培を研究中で、現在、京フキ、ブルーベリーの栽培に取り組んでいる。

鈴木 富男さん・袖山

三十五歳・第二種兼業農家

水田一・五畝

稲作と会社勤めを両立させている本町では典型的な第二種兼業農家で、転作物に飼料を栽培し、その交換によって稲作に必要な堆肥を確保している。



写真・62年産米初出荷(東由利農協玉米支所)

もし、食糧制度が消えたら

司会 さつそくですが私ども

で準備した質問等の項目にしたがい、みなさんからご意見・ご提言をいただきたいと思ひます。

まず、いま農業情勢でもっとも大きな問題は食糧管理(食管)制度のゆくえかと思ひますが、もしこの制度がなくなつた場合、稲作をどのように位置付けていかなければならないと考えますか。

阿部 時代の変化として受けとめなければならぬ時期でもあり、ある程度の値下りはやむを得ないことでもありましようが、米はいずれにしろ農家の基本的な作物であることにかわりはなく、そうした自覚を失わないうようにしていくべきと思ひます。

す。

遠藤 食管廃止論は合理性のみを優先する考えから生れたように思ひます。ですから農政の現状からみて今後ますます廃止の方向が強まると思ひます。米に対する援助がなくなつた場合は他の農作物と同様価格の変動や産地間競争が激化するわけで、作れば売れたこれまでの米づくりにへの甘い考え方をまず捨てなければならぬと思ひます。

全町的な品種の統一を

司会 鈴木さんが言われたよ

うに食管がなくなつた場合の稲

新年のごあいさつ

輝ける一九八八年の幕開けを謹んでお慶び申し上げます。

近年のめざましい社会経済の発展に伴い、「農村東由利」における町民生活も大きく変貌し豊かさがきわめられつつあります。しかしながら、滞まることを知らない社会経済の進展は、より充実・安定した生活へと人々の願望を膨らませ、私どもの

行政課題も増大、その解消策に手腕の間われる時代となりました。

こうした中にあり今後は、生

より住みよい町づくりを目指して

東由利町長 畠山 亮二郎

活環境の整備にこれまで以上の力量が必要であることを痛感するところです。今後当面の行政課題は、町民にこいの森の整備

路線の整備また、郷土文化伝創館(仮称)の建設計画など、より住みよい町づくりのために努力していききたいと考えています。

生産の定着・拡大を図り、かつ複合経営としての畜産の規模拡大のため、肉用牛の増頭対策を推進していききたいと考えます。

産業の振興については、厳しさがおお層きわまる農業情勢の中で、低コスト稲作と「あきたこまち」を中心とする良質米

幸いにして、出羽丘陵開発事業が今年完工を予定、今後の畜産振興に大きな期待が寄せられるところとす。

幹線道路整備については、現在着工の国道一〇七号線宿区及び詳細設計が確定している奥ヶ沢工区の早期完成と、県道・町道の未改良区間の早期整備を強力に推進していきます。町民の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

作への取り組み方として、良質米を生産することが大きな課題と思われませんが、良質米生産のためにみなさんはどのように取り組んでいかなければならないとお考えでしょうか。

遠藤 秋田県の銘柄米あきたこまちは、政府管理下のなかでは二類という格付けにはなっていますが、実質日本一の評価のものも出ています。これは、自然乾燥や有機質肥料による栽培の成果であり、こうした栽培方法を定着させていくことが必要であると思います。

小松 おいしい米として人気がある新潟県のコシヒカリや宮城県のササニシキは全国的に銘柄が確立されています。これは味もさることながら積極的なPRによるところが大きいようにも思います。ですから、秋田県

の銘柄米としてのあきたこまちのPRを県全体で強烈に進めると同時に、本町でも独自の広報をしていく必要があると思います。

阿部 私はそうしたことの推進とあわせ、生産技術の向上をも含めた全町的な品種の統一が最優先されることが重要なことだと思います。

鈴木 私たちのような会社勤めを主体としている農家には、良質米に欠かせない堆肥づくりは難しいことです。そこで私の場合は、畜産農家と転作作物

(飼料)と交換することで堆肥を確保しています。私のような牛を飼っていない兼業農家が町内には大勢いることですし、堆肥が容易に確保できる町独自のシステムがあってもいいのではないのでしょうか。

収益増に欠かせない—堆肥

司会 無家畜農家が、約半数ある本町にとって良質米栽培振興に対する貴重な意見と思われます。

有機質肥料としての堆肥の重要性が要求されていますが、本町では稲作に次ぐ産業として畜産を振興し、出羽丘陵開発事業による粗飼料基盤の確保と肉用牛の増頭を推進しています。畜産は有機質肥料確保のために、稲作にも畑作にも欠かせないものであり、複合経営の基盤になるものと思われませんが、みなさんはどのように実践していますか。

か。

阿部 私は堆肥確保のため二頭の和牛を飼い、すべてを水田と畑に還元しています。

石渡 作物の成育は根がポイントです。堆肥は根をつくる重要な養分で、その効力を十分発揮させるためにも畜産公害にならない程度に完熟使用を心がけています。

小松 私は米と葉たばことと和牛の複合経営をしています。労働力からみて牛は過剰労働を導いています。しかし良い作物を得るため、すなわち収益を上

げるためには堆肥を生む牛の存在が不可欠です。これからも苦労はしますが牛と一緒に生きていきます。

遠藤 二戸による共同畜舎を利用して和牛十一頭を飼っていることから堆肥も多く出、無家

集団栽培と共同作業の確立を

司会 ありがとうございます。それでは話題を少しかえ転作の問題について意見をお聞きたいと思います。

水田農業確立対策により二割減反が止むなくされ、かつ転作物に対する助成幅もせばめられ、より換金性の高い作物の栽培が課題となっていますが、みなさんはこれまで減反にどのように対応し、また今後どう対処していきますか。

石渡 これまで転作面積を他人に依頼してきましたが、これ以上は無理です。今後は人手もないし、飼料作物へと変えていきます。

阿部 単位面積当りの収益性の高い作物としてブルーベリーや京フキなどを試験的に栽培中で、結果が出次第本格な栽培をしていきたいと考えています。

小松 私はこれまでできる限り人手のかからないものとして牧草を転作物にしてきました。

畜農家への譲渡もしていますが、最近では譲渡の量が増えており、これまで堆肥には見向きもしなかった農家の、堆肥への復縁が町の農業の方向づけをなしているように感じます。

しかしこれでは収益性がなく、もっと利益の伴うものにしていかなければと思っています。そのためには、農協の指導体制を強化し、集団栽培の方向で作物を統一することが一番良い方法と考えます。

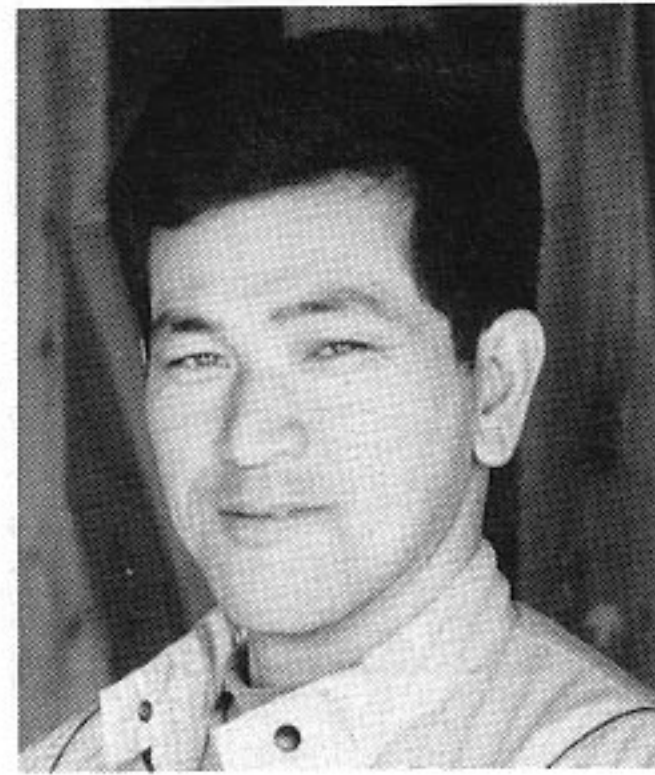
遠藤 和牛を飼っているため転作全部に飼料作物を栽培してきましたが、出羽丘陵開発事業への加入により草地が確保されたこともあり、一部にサヤインゲン、スイートコン、かたうりなどを栽培してみました。しかし思った以上に大変で、労力はもちろん長雨による品質の低下や鳥害、また水田利用のため排水対策など、畑作農家の苦勞を身を持って体験させられました。これらの経験から感じたことは、個々の栽培だとうしてもコストが上がり作業効率が良くないということです。今後は共同作業による栽培体系を確立することを提言したいと思います。



小松 幸男さん



石渡 豊和さん



遠藤 熊雄さん

おみやげに、つけものを

農協婦人部特産物振興会が加工・販売 どうぞ!!

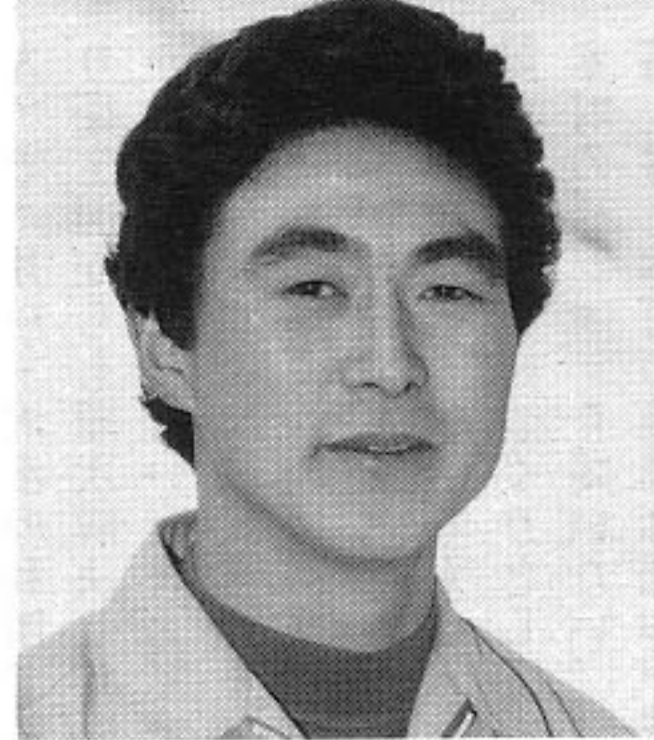


つけものを加工中の農協婦人部特産物振興会
員(田代・元農協集乳所で)

つけものを東由利の特産に…と、いま東由利農協婦人部の特産物振興会が、盛んにつけものの加工・販売を行っています。すでに販売されているものは、赤かぶこうじ漬け、同酢漬け、山ごぼうの味噌漬け、同醤油漬け、各種味噌・粕漬け、チヨロギ漬け、福神漬けなどで、百〇五百〇に袋詰めにしたものから要望に応じての樽詰めにしたものまで分量も豊富。「おみやげやご贈答用にぜひどうぞ…」と会員はPRに懸命です。値段も百〇五(真空パック入)百〇五百円と格安で味も良く、酒のつまみにもぴったり。正月明けに出稼ぎで上京されるみなさん…会社等へのおみやげとし、町の特産品になるようPRにご協力いただけませんか。



鈴木 富男さん
阿部 陽悦さん



欲しい、行政の積極的手助け

司 会 ご承知のとおり本町の農家一戸当りの耕作面積は一・二畝と少なく、ほとんどは兼業農家です。この現状と機械化農業による余剰労働力の増大などから、他産業の就労の場の確保が重要な課題となっており、町では企業誘致などの施策を講じていますが、このことについて農家の立場から提言がありましたらお聞かせください。

鈴木 厳しい農業事情から農外収入に依存する農家が増えていきます。人口減少などの問題もあることと思いますが、今後企業誘致には力を入れ、農業と工業併存の町づくりを進めてほしいと思います。

石 渡 農業の低迷で農業を基幹産業としてきた私たちに落ち込みとあきらめがあるように思えます。もつと開き直り、みんなが知恵を出し合って解決していくことが先決のように思います。

遠 藤 農産物輸入自由化などで難しいことではありますが、農業を媒体とした地場産業の振興への挑戦が少し足りなかったような気がします。県内ではすでに地場産業を確立し成功している町村が多数あります。付加価値を付ける動きに対して行政の積極的な手助けが必要だと思います。農協婦人部など、つけものや山菜加工に取り組んでいる

グチこぼさず、努力と勉強を

司 会 最後に、行政の指導性が今後ますます要求されると思いますが、みなさんから行政に対して要望・意見がありましたらお聞かせください。

遠 藤 町では優良種子購入に對し補助制度を設けていますが、これを良質米栽培の定着という観点から、その助成をあきたこまちとササニシキの二品種に限定してはどうでしょうか。今後要求される良質米生産の基盤づくりになると思うのです。

あきたこまち 10アール当り 733キロを収穫

7百キロ以上多収穫者10人を表彰

町では良質米の作付けを推進し、とくに県の重点栽培地域指定を受けているあきたこまちの作付けを奨励しています。このため町稲作研究会に栽培技術の研究を依頼していたところですが、同研究会が今期に行った坪刈り調査の結果から十アール七百三十三・九キの多収穫者が出現、研究の大きな成果に関係者は喜びを大きくしています。町ではこの実績を高く評価すると共に栽培規模を自信を持って拡大できるとして、今後一層の推進を図ることにしています。

【あきたこまち】(敬称略)

工藤実(新処)

【ササニシキ】

佐々木幸雄(大琴)、木島賢一(島)、木島成寿(岩館)、遠藤熊雄(新処)、佐々木甚一郎(新町)、小笠原慶悦(蔵新田)、阿部陽悦(岩館)、小松芳久(高戸屋)、工藤実(新処)

また畠山町長は、あきたこま

グループもあり、これらへの販売等を含む手助けが必要なのではないでしょうか。

12月定例議会

コミュニティセンター設置条例制定

町議会十二月定例会が十二月十七日から六日間の会期で開かれ、町長の行政報告、一般質問のあと、コミュニティセンター設置条例の制定案など十二議案を審議し原案通り可決したほか、議会最終日に各常任委員長が付託事件の審査結果を報告し閉会しました。

一般 7 議員が町長の考えただす

質 問 転作作目対策として、農産物加工処理施設を建設する考えはないか。

答 弁 今年の転作状況からみて、飼料作物が七一・三割と本格的な転作は進んでおらず、検討を急いでいるところです。転作作目で収入拡大を図るには野菜の定着が必要と思われる、その際には施設も必要となり、六十四年には建設できるよう農協と協議を進めています。

質 問 未給水地区への対応及び大琴水道の改修計画は。

答 弁 現在未給水となっている地域は須郷、板戸、茂沢、祝沢、中の沢、舟木、畑村、大台の八集落（百一戸・四百四十七人）で、井戸・沢水の利用であり衛生面からも順次解決していくかなければならないと考えています。大琴水道は開設来三十一年が経ち改修の時期にあり、現在舟木、畑村地区を含めた給水計画で調査を実施中です。

質 問 新農村づくりとしての本町のビジョンを問いたい。

答 弁 本町の農業は稲作が基幹であり、その基盤整備を急いできたところです。現在米の自由化の方向が次第に強まり、良質米生産に重点を置いているところですが、一農家一・三畝の耕作田では生活が成り立たない実態で、稲作プラスアルファの複合経営を指導しているところ。その一施策としての出羽丘陵開発事業も順調に進み、いま畜産と稲作との複合農業が次第に実を結びつつあります。しかし、これだけでは安心して生活できない現実もあり、就労の場の確保のための地場産業の振興と特産品の創出などに重点をおきながら、農工併存の新農村づくりを進めていきたいと考えています。

質 問 公共建造物へのアスベスト（石綿）使用について、万全な調査を行ったか。



英語指導主事助手による英語指導
(62年6月・東中)

質 問 水田農業確立対策により揺らぐ農政、悩む農家に対し、今後どのような取り組みにいくのか。

答 弁 六十三年度の本町転作配分面積は今年度より一二・六割増が見込まれます。これに対応する行政施策として、①米消費拡大の

行政報告

今議会での、町長の行政報告の概要をお知らせします。

主な議案
コミュニティセンター設置条例を制定▼老方地区コミュニティセンター・老方館の完成に伴い使用許可基準、使用料などを定めた。
町職員給与条例の一部を改正▼人事院勧告に準じ職員の給与を四月にさかのぼり平均一・四八割引き上げた。
昭和六十二年一般会計補正予算▼歳入・歳出予算にそれぞれ二千九百五十一万円を追

加、同現計予算は二十四億三千八百四十五万四千円となった。主な内訳は▽職員給与と改定関係費四百八十八万六千円▽農地流動化奨励金百五万五千円▽林業施設災害復旧費二百八十七万四千円▽農業用施設同五百五十四万三千円▽道路橋梁同三百三万六千円▽河川同五千八百二十九万一千円。このほか道路維持費、同新設改良費、橋梁維持費など土木費で二千五百八十九万六千円を減額。

の影響を受け、乾燥不十分などによる返納品もあり、かなりの減収が見込まれる。
仔牛▼本荘市場取引頭数は八百五十頭で一頭平均は四万一千円。前年より一頭当たり平均七万七千円の大増高値となり、畜産農家にとりうれしい市場取り引きとなった。

出羽丘陵開発事業▼今年度の

全体計画の88.8%の進捗率で工事が進んでいる出羽丘陵開発事業

(写真・若林団地)



蔵地区の裏通りに流雪溝完成

小型除雪機2台などにも配備

完成した流雪溝に道路の雪を排雪する蔵地区利用者の方々



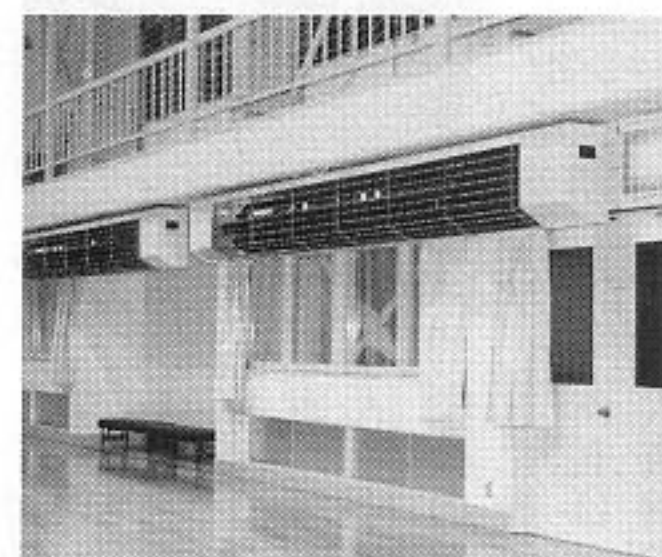
蔵地区の裏通りに昨年八月から特別豪雪地帯集落防雪体制整備事業によって建設が進められていた流雪溝が、昨年十二月に完成しました。

この流雪溝は、三立自動車整備工場裏から永慶保育園前までの約六百メートルに、二千万円の事業費をかけて建設したもので、水源は昭和六十年に建設した蔵流雪溝の水源を利用しています。流雪溝の利用戸数は施設沿線の七十三戸で、利用組合が組織さ

冬も快適にスポーツを

健康増進センターに暖房設置

より寒さが厳しいとされる今年の冬、暖かい体育館で快適なスポーツをお楽しみください。



健康増進センターに設置された遠赤外線放射暖房装置

健康増進センターに昨年十二月から暖房が入りました。取り付けされた暖房器具は遠赤外線放射暖房装置という安全でしかも熱効率の高いもので、十数分で暖まり最高二十二度まで暖房できます。例年

強化②他用途利用米等の拡大に
対する助成確保③自主流通米在庫等新たな対策への助成の確保
④販売業者の在庫の積上げなどの措置を強く働きかけ、行政と生産者が一体となって転作政策に取り組んでいかなければならないと考えます。また、農家に對して従来にも増して転作指導の充実、収入増につながる複合経営を強力に推進していかねばならないと考えます。

答 弁 社会保険適用事業所の増加などに伴い国保の加入者が減少しています。このことは国保収入の減になり、医療負担が圧迫される結果となりますので、場合によっては税額の引き上げが考えられるところです。このため町民の健康指導を強化し、医療費抑制に努めなければと考えているところです。

がらず、これまで問題点として考えられましたことは、行政の介入には限度がありプライバシーを侵害する恐れがあるということなどで、行政には無理な面が多いことがわかりました。このような観点から、本年度から三十歳以上未婚者の解消策の一環として、「縁組世話人報奨制度」を実施したところであり、今後ともこの制度の運用をバネにして一人でも多く、未婚者の解消に役立てばと考えています。

お待たせしましたー水道拡張工事完成

土場沢・高屋に給水開始

者負担(八万円)です。

土場沢・高屋地区に水道を布設する東由利水道拡張整備事業が昨年十二月に完成し、同地区二十二戸への給水が開始されました。総事業費は、配水管工事約三億、送水ポンプ場一か所、配水池一基、計量ボックス一棟の建設費を合わせ八千九百八十一万二千元で、約四〇パーセントが国庫補助金、残りは起債・一般財源、受益



下吹に建設された送水ポンプ場

森林組合長に 遠藤氏就任



遠藤治郎助氏

町森林組合では、病氣療養を事由に退任した小番銚平組合長の後任に、十二月十八日の理事会で遠藤治郎助氏(十二の前)を互選しました。遠藤氏は本町議会の議員で、現在産業建設常任委員長の要職にあるなど、豊富な経験を活かした今後の活躍に期待が寄せられています。

工事進捗率は九〇パーセント。全体の事業進捗率は八八・八パーセント。
林業 三年目になる作業道開設事業は好評に進められ、今年度実績は九千二百五十二メートル(計画九千メートル)で、これまでの総延長は三万五千九百三十九メートルとなった。
道路 広報十二月号で紹介済のため省略。
老方地区流雪溝 工事が順調に進み、今冬から一部運用を開始する予定。
健康増進センター 四月以降

八か月間の利用者は延べ一万二千六百五十九人で、うち体育関係の利用者は五千八百六十八人、その他の利用者六千八百五十三人と予想以上の利用。
テニスコート シーズン中延べ二千五十二人が利用し、うち中・高校生が八百一人、一般が一千二百五十一人と、ますますの利用。
仮称・郷土文化伝創館 議会の理解が得られれば、六十三年度の着工に向け準備を進めたい。



まちの話題

みなさんの地域の、話題、出来事などお知らせください。必ず取材にでかけます。めずらしいことやおもしろいことは新聞やテレビに紹介します。(広報係)

町民スポーツに綱引きを！

全町大会目指しルール勉強



12月16日県綱引き連盟理事らの指導で行われたルール講習会

町公民館では「だれでも気軽に参加でき、大声を出して気持ちを発散できるスポーツ」として、いま綱引き競技の普及に懸命です。このため12月16日には健康増進センターでルール講習会を開き、県綱引き連盟理事らの指導のもと町体育指導委員、分館主事、自治会体育係ら20人が、対外試合にも通用する国際ルール、競技の進め方を2時間余りにわたり勉強しました。町公民館では「古代オリンピックの正式種目だった綱引き競技はここ数年愛好者が急増し、全県大会も年々盛り上がりつつある。本町でも全県大会への出場を目指し、近く全町の大会を開く予定で、多数の参加を期待している」と、いまその準備に躍起となっています。

パソコン操作に奮戦中！

町教育研究所で2台導入



パソコンの操作を学ぶ町教育研究所員

学習効果の向上などをねらいに、町教育研究所がこのほどパーソナルコンピュータ(パソコン)2台を導入しました。パソコンは東由利中学校に設置され、まだ実用段階ではありませんが、早期実践・活用に向け同研究所員である町内小・中学校の教師や、東中生徒が授業の合間などに操作を修得中です。畑山昭一同研究所長は「諸事務の効率化や進路指導・個人資料の共有・分析など実用化のメリットは大きい。本格活用までには多くの頭脳と時間が必要だが、早期活用とあわせ、コンピュータ社会における将来の自信と推進していきたい」と張り切っています。

小さな分校の大きなクリスマス

地区民も参加し和気あいあい



自前のクイズや手品のほか、ミュージカルを披露する5人の児童たち

本町でただ一つの分校一大琴小学校大台分校は、児童数5人の小さな学校です。この大台分校で12月18日一足早いクリスマス会が開かれ、地区の人たちもこぞって参加、和気あいあいの楽しい集いとなりました。この日は児童らによる学芸発表や全員によるゲームが行われ、学芸発表では児童が自前のクイズや手品のほかミュージカルを披露、詰めかけた地域の人たちから盛んな声援と拍手が送られました。また関所やぶりやイスとりゲームには全員が参加し、会場は外の寒さとはうらはらに熱気に包まれるなど、小さな分校ながらも地域ぐるみの大きなクリスマスを楽しんでいました。

愛の血液ありがとう

12月22日(太字400ml献血者)

大琴診療所

大塚 和穂

長谷山 節男

佐々木 日出夫

高橋 富男

小松 敏子

鈴木 美津子

工藤 昭仁

佐藤 洋子

鈴木 政雄

嶽石 文弥

森川 道子

小松 和子

小野 肇

工藤 昭義

畑山 敏

小野 進

佐々木 良博

畠山 忠志

高橋 美栄子

石渡 博澄

高橋 孝紀

遠藤 晃

佐藤 貞子

有原 弘信

長谷山 栄

小笠原 慶悦

横山 昌喜

小松 五緒子

守屋 富士子

古閑 愛子

今野 順子

畠山 トキ子

渡辺 和美

畠山 節雄

木島 博

佐藤 安男

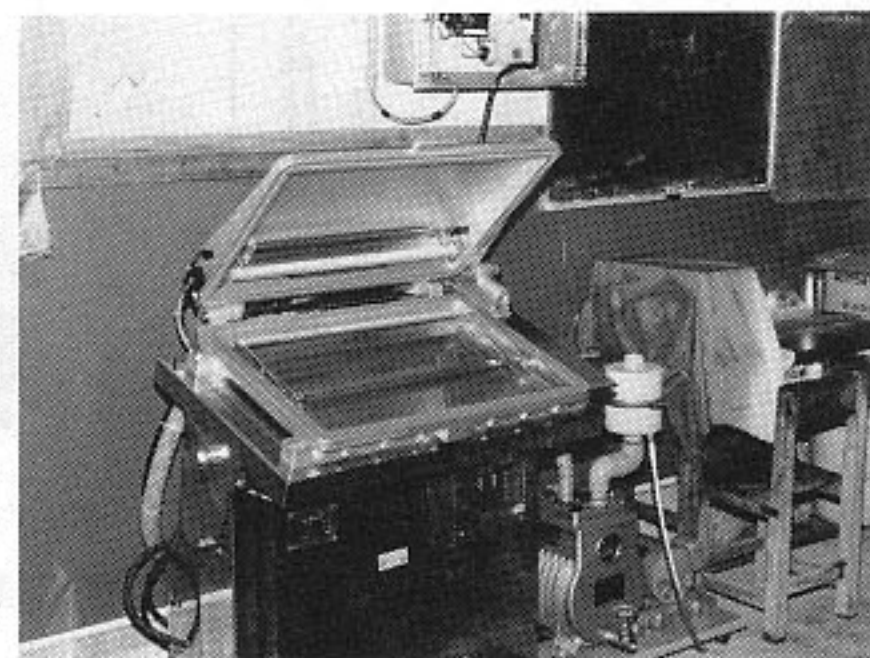
畑山 豊隆

渡辺 サキ

ご利用ください……

真空包装機を購入

町農業総合指導センターが購入した真空包装機



町農業総合指導センターで『真空包装機』を購入しました。機械は現在高瀬農産加工組合が管理していますが、どなたでも利用でき、利用料は1パック25円です。利用したい方は農業総合指導センター・役場内 ☎69-2110 または農協農産課・☎69-2221 にご連絡ください。

町長の

中国訪問日記

(2)

蘭州から敦煌・酒泉へ

—シルクロードの旅—

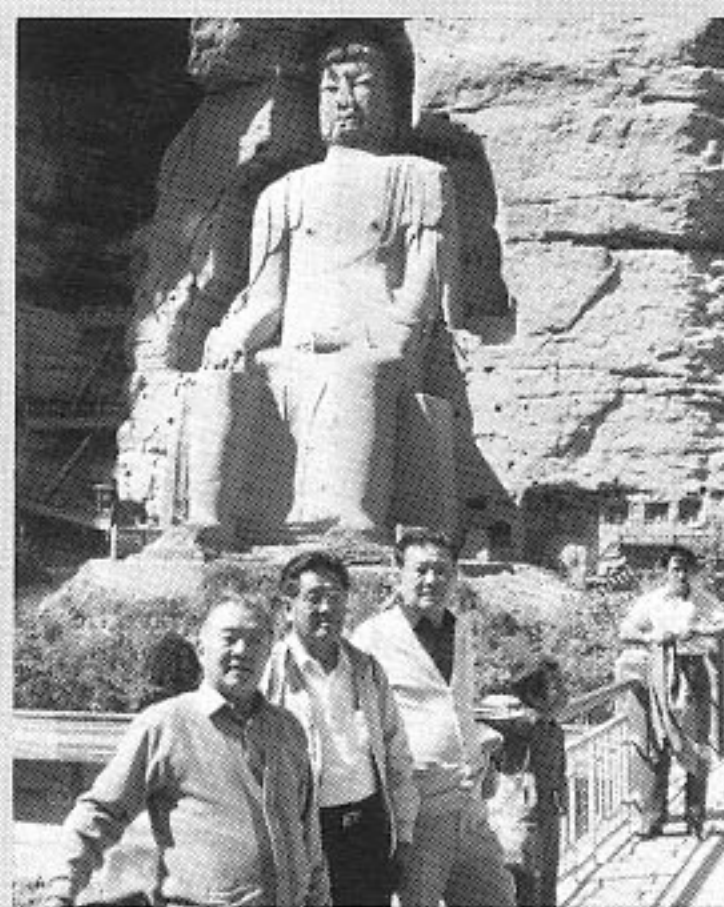
■10月3日・蘭州市での一夜を明かし午前八時に宿舎を出る。今日は黄河の上流を堰止めて造った中国自慢の多目的ダムを遊覧し炳靈寺に至るコースである。

ダム湖岸に至るまでのコースは改良・舗装された道路で日本の観光道路並。山岳地帯の谷間を走る道路の周辺では山合いを耕す農民の生活ぶりをたっぶり見学できた。『耕して天に至る』のことば通り、その姿からは中国農民の貧しさと一面には勤勉さが伺われ、ただただ敬服あるのみ。途中農耕に励む夫婦と出合い車を止めて励ます。「農家は貧しくて何にもない。先生方と出合えてうれしいので馬鈴薯をあげる」と馬鈴薯を差し出されたときは、その純朴さに頭が

下がる思いだった。農婦に手持ちのアメをあげて激励した。出発から二時間で劉家峡ダムに着。二時間余り湖上を遊覧した後炳靈寺に着く。炳靈寺峡谷は中国墨絵巻に出てくる断崖絶壁の景観そのもの。正に夢の世界を感じるものがあつた。夜は蘭州市内金城賓館で知事招待答礼祝宴が行われる。蘭州市長はじめ甘肅省高官を招待。友好を深め合う意義深い宴会となった。

■10月4日・午前四時起床。同七時四十分蘭州発の双発プロペラ機でシルクロードのオアシス敦煌へ向かう。空から眺める砂漠風景は想像以上に荒涼たるものであつた。十一時敦煌空港に到着。車中「敦煌は人口十萬。大なゴビ砂漠の中では一つのゴマ粒位の町に過ぎない」と話していた通訳のことばが印象的。

■10月5日・敦煌の夜明けは七時頃で日本より一時間以上も遅い。朝早くから王県長自らが私ども一行の案内役をしてくれるという最高のサービスぶり。午前八時敦煌賓館を出発し漠高窟へ向かう。砂漠の中の舗装道路をバスに揺られての旅には普段味わうことのできない愉快さを覚えた。だが、その後の話で明日は酒泉まで砂漠の中を七時間も走るといわれてウンザリ。漠高窟へ到着し四百九十二窟ある中の二十窟について説明を受ける。この中のNo.三二九窟は初唐の作で、正面に遼遼の仏像、



劉家峡ダムを経て炳靈寺を訪れる

唐の作で、正面に遼遼の仏像、両側に弟子の「アナン」と「カシヨー」の像が配置されている。窟の入口にある木造の建物は宋

の時代のものといわれるが、この砂漠地帯にどうやって巨木を運んできたものか不思議に思われる。正午、敦煌賓館に帰り、休憩後敦煌文物研究所などの視察に出かける。ここでは漠高窟を中心に発掘された中国重要文化財を見学する。土器、木簡、矢じりなど日本の出土品と似ていて、日本古代文化の源流を訪ねているような気がした。午後六時には戻り、始めて一行だけの夕食を楽しむ。

■10月6日・七時に起床。外はまだ夜が白む程度。七時三十分頃外を眺めると街路は働きに出る人の動きが激しくなっていた。またジョギングをする団体もある。いま中国ではジョギングが流行しているとか。今日は敦煌から酒泉までの砂漠地帯四百十キを、バスに揺られて七時間の旅。またとない旅でもある。広漠たる砂漠には殆んど緑がない。緑の見えるところ、そこは砂漠の中のオアシスであり集落がある。わずかな砂漠の草を追いながら羊やラクダの放牧も見られる。車で約二時間のところの安西市で休憩。道路沿いに立ち並ぶ市場からメロンを買って食べる。さすがに乾燥地帯のメロンは水分が多くて甘い。日本のマスキメロンに劣らない甘さである。安西市を出た途中で砂漠地帯を走る列車に出合ったが、蘭州と敦煌間は一日二往復のこのと。安西市から更に車で二時間。玉門鎮という石油産出地帯の町で昼食。再び三時間余り走り、酒泉市には午後五時到着。この地帯は甘肅省で一番農業が盛んだといわれる。トウモロコシ、小麦、綿などが主な農産物。一帯の畑からはこの土地の豊かさが感じられた。農民の生活が豊かになるにつれ農家子弟の教育に力が入られているという。酒泉郷という郊外農村では、近代的な私立小学校が農民の出資により運営されている現実を見学し驚かされた。義務教育は日本と同じ六、三制という。午後六時から酒泉賓館で歓迎夕食会が催され、酒泉市高官らとの和やかな交歓が行われた。

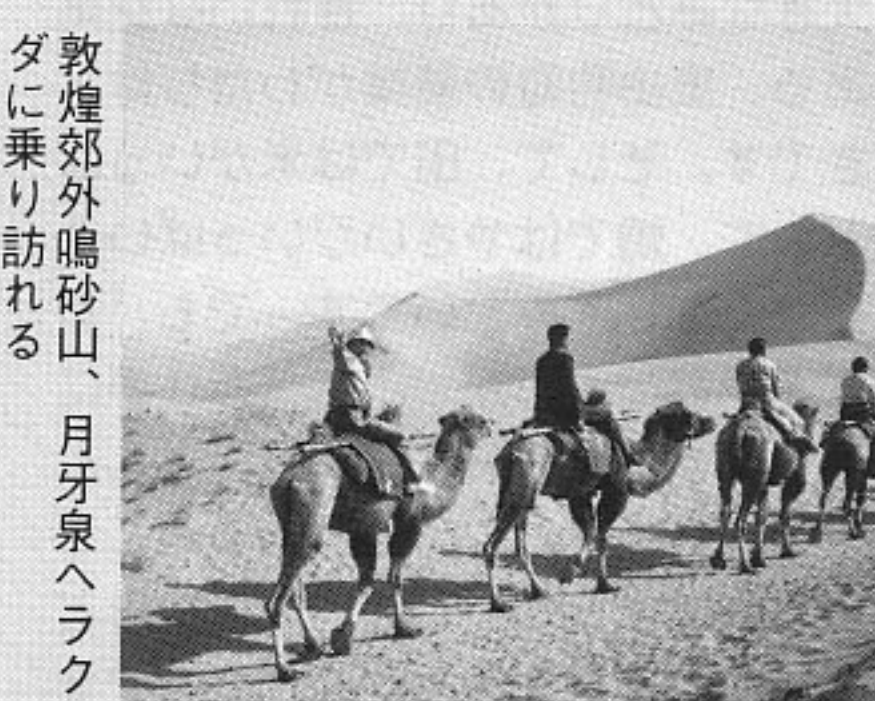
蘭州市人民政府表敬訪問
—熱烈歓迎をうける—



■10月7日・午前八時に宿舎を出る。今日は黄河の上流を堰止めて造った中国自慢の多目的ダムを遊覧し炳靈寺に至るコースである。ダム湖岸に至るまでのコースは改良・舗装された道路で日本の観光道路並。山岳地帯の谷間を走る道路の周辺では山合いを耕す農民の生活ぶりをたっぶり見学できた。『耕して天に至る』のことば通り、その姿からは中国農民の貧しさと一面には勤勉さが伺われ、ただただ敬服あるのみ。途中農耕に励む夫婦と出合い車を止めて励ます。「農家は貧しくて何にもない。先生方と出合えてうれしいので馬鈴薯をあげる」と馬鈴薯を差し出されたときは、その純朴さに頭が下がる思いだった。農婦に手持ちのアメをあげて激励した。出発から二時間で劉家峡ダムに着。二時間余り湖上を遊覧した後炳靈寺に着く。炳靈寺峡谷は中国墨絵巻に出てくる断崖絶壁の景観そのもの。正に夢の世界を感じるものがあつた。夜は蘭州市内金城賓館で知事招待答礼祝宴が行われる。蘭州市長はじめ甘肅省高官を招待。友好を深め合う意義深い宴会となった。

■10月8日・午前八時に宿舎を出る。今日は黄河の上流を堰止めて造った中国自慢の多目的ダムを遊覧し炳靈寺に至るコースである。ダム湖岸に至るまでのコースは改良・舗装された道路で日本の観光道路並。山岳地帯の谷間を走る道路の周辺では山合いを耕す農民の生活ぶりをたっぶり見学できた。『耕して天に至る』のことば通り、その姿からは中国農民の貧しさと一面には勤勉さが伺われ、ただただ敬服あるのみ。途中農耕に励む夫婦と出合い車を止めて励ます。「農家は貧しくて何にもない。先生方と出合えてうれしいので馬鈴薯をあげる」と馬鈴薯を差し出されたときは、その純朴さに頭が下がる思いだった。農婦に手持ちのアメをあげて激励した。出発から二時間で劉家峡ダムに着。二時間余り湖上を遊覧した後炳靈寺に着く。炳靈寺峡谷は中国墨絵巻に出てくる断崖絶壁の景観そのもの。正に夢の世界を感じるものがあつた。夜は蘭州市内金城賓館で知事招待答礼祝宴が行われる。蘭州市長はじめ甘肅省高官を招待。友好を深め合う意義深い宴会となった。

■10月9日・午前八時に宿舎を出る。今日は黄河の上流を堰止めて造った中国自慢の多目的ダムを遊覧し炳靈寺に至るコースである。ダム湖岸に至るまでのコースは改良・舗装された道路で日本の観光道路並。山岳地帯の谷間を走る道路の周辺では山合いを耕す農民の生活ぶりをたっぶり見学できた。『耕して天に至る』のことば通り、その姿からは中国農民の貧しさと一面には勤勉さが伺われ、ただただ敬服あるのみ。途中農耕に励む夫婦と出合い車を止めて励ます。「農家は貧しくて何にもない。先生方と出合えてうれしいので馬鈴薯をあげる」と馬鈴薯を差し出されたときは、その純朴さに頭が下がる思いだった。農婦に手持ちのアメをあげて激励した。出発から二時間で劉家峡ダムに着。二時間余り湖上を遊覧した後炳靈寺に着く。炳靈寺峡谷は中国墨絵巻に出てくる断崖絶壁の景観そのもの。正に夢の世界を感じるものがあつた。夜は蘭州市内金城賓館で知事招待答礼祝宴が行われる。蘭州市長はじめ甘肅省高官を招待。友好を深め合う意義深い宴会となった。



敦煌郊外鳴砂山、月牙泉ヘラクダに乗り訪れる

みんなのひろばは、みなさんに登場していただくページです。
ヤングレポート、われら農業人、お母さんの生活日記、お
達者くらぶなど、自薦、他薦でも結構ですので、広報係まで
お知らせください。

「町民になりました よろしく」

高橋 順子さん
(五海保・25歳)



新婚旅行中フランスの新幹線TGV
の車内にて春男さん(左)と

「古い部分が残る
町づくりにも…」
昨年十一月、本荘市から五海
保の高橋春男さんに嫁ぎ町民に
なった順子さんです。
順子さんは実は本町下吹の出
身で、十年前家族と共に本荘市
に転居、中学生時代の同級生で
ある春男さんとの婚姻により、
再び町民として東由利町に籍を
置くことになりました。
十年ぶりに町民となって順子

さんは「生れ故郷に嫁げてうれ
しい。道路や施設が整備され十
年前とは比較できませんが、懐
かしいものが消えてちよっぴり
寂しさも感じます」と話し「開
発とあわせて古い部分が残るよ
うな町づくりにも…」と町への
希望を話していました。また、
現在本荘市内の保険会社に勤め
毎日車で通勤していることから
「国道が早く良くなってほしい」
と強く願っていました。

男の浪漫

長谷山誠明さん・下通

これは、東由利中学校PT
A文化部が編集・発行した機
関紙『いずみ』から転載した
ものです。



長谷山誠明さん

経営とは創造であり、変化に
対応して生きて行く事でありま
す。まず、夢がなければいけま
せん。また、社員は上司に対し
て常に意見を言い易い環境をつ
くっておかなければいけないの
であります。流通は飛行機だか
ら、あとからでは乗れないと思
って十二年前に乗ってみました。
つまり、カナダの木材製品の輸
入販売を始めて早や十二年と言
う訳です。ビジネスニーズ(会
社の目標)とヒューマンニーズ(会
社個人の目標)を、どうやって
合致させるか、また、生きて行
くための可能性の追求でありま

した。社員の育て方でも急に効
果の出てくるトンプクのような
ものと、そうではないビタミン
剤的なものがありました。つま
り、自分では毎日が不安と孤独
との戦いでありましたし、戦略
としての柔軟な組織づくりが大
事な事でありました。軽薄短小
の時代から今は一歩進んで五感
の時代、つまり感性を売る時代
と言われております。命がけの
夜も昼もない仕事であって、時
代に逆行するような重厚長大な
我が商品も、社会が必要とする
仕事であったからこそ今まで続
けてこられたのだと思います。

みんなの ひろば



絵・たかはしみかさん
6さい・えいけい保育園

わたしのおかあさん

ちびっこの園



— テーマ —
「こんな町に
なったらいいな」

しずえ
佐々木静恵さん
大琴小・3年

わたしは、東由利町の大琴小学校の
近くにある農村公園に、もうちょっと
遊ぶ物がほしいと思います。たとえば
高瀬小学校にあるような、まるたでつ
くった遊び物がほしいです。それは、
夏や秋に、老人も、わかい人も、子ど
もも、みんな楽しく遊べるからです。

大きなみどりがあり、きれいな空気
のある、東由利町の農業がわたしは大
すきです。そして、田では米がいっぱ
いとれて、畑ではやさいがいっぱいと
れる農業をしてみたいです。でも、お
父さんやお母さんが、よそへお仕事に
行っています。お父さんやお母さんた
ちが安心して楽しくはたらけるとこ
ろがほしいです。わたしは、大きなみど
りの公園みたいな東由利町がすきです。



須郷田
小野 瞳さん

『あかあさの生活日記』

③①

年始めの決意

今年が辰年です。私も辰年生れで、今年で四回目の干支を迎えることになりました。辰は十二支の中で唯一の空想の動物ですが、念のため動物図鑑を見たら、辰は「竜」として載っていました。「大蛇に角や猛獣、猛鳥の頭を組み合わせた」

伝説の動物」とあります。辰は十二支の仲間として広く知られた存在なので、架空の動物の中にも別格なのでしょう。伝説の動物「竜」は日本だけでなく、中国そしてヨーロッパやインドなどにも見られるようですが、いずれも実在の動物を組み合わせたようなもので、日本や中国の竜は蛇の胴に足をやし、鬼の顔に鹿の角を付けたような動物です。竜は日本では水をつかさどる力を持っているとされ、竜神や竜王に雨ごいをする風習が各地にあると聞きま

また、ことわざにもしばしば登場します。「竜吟すれば雲起る」とは、英雄の決起に多くの同志がこれに従うことの意味で、英雄を竜にたとえているのだといわれます。英雄の決起：といえば、今年には四年に一度の町議会議員の選挙が行われる年です。行政運営に参加して私たちの代弁者となる人を選ぶ、一番身近で大事な選挙です。年の始めの一つの決意として、しっかりした目を持つことを誓い合いたいものです。



ひろゆき
佐藤 博之くん・下 通
20歳・已紀男さん長男



④④

「めっちゃくちや明るい」と自分の性格について話す博之くんは二十歳の誕生日を先月迎え、晴れて大人の仲間入りをした。はつらつヤング。「ようやく一人前の顔ができるようになった」と喜んでいました。出稼ぎを経験したこともあるという博之くんは、昨年六月からは東由

利農協の総務課に勤務、「仕事が好き」と張り切っています。家族は両親、祖母、姉の五人で、現在姉を除く四人暮らし。「やるときはやる」と、きっぱりと話す博之くんは聞いてみました。一番楽しいときは：「やっぱり友達と飲んでさわいでいるときが一番。それにパチンコ。負けたときは最悪ですが、町への要望は：他町村を「あつ」といわせるようなインパクトの強いイベントを開いて東由利のイメージをもっと対外的に広げてほしい。また一〇七号線を一日も早く整備してもらいたい。今年の抱負を一言：結婚といたいところですが、その前にまずガールフレンドを見つけます…。チャーハンをつくるのが得意という器用な博之くんでした。

お達者くらぶ

—おじゃまします—
長寿会

袖山地区老人クラブ「長寿会」におじゃましました。かつて30人程だった会員は、高齢化社会の反映もあって今では50人までに増員。しかし、どんな事業にも参加者は少なく、一番の悩みとなっています。会長の武田重雄さんは「年寄りといっても、現代社会は60歳台はまだバリバリ。孫の世話など家庭における日常の仕事も多く、家を離れることができない人も多い」と話していました。長寿会の活動の拠点は昨年オープンした「袖山館」で、草取りや清掃などを行いその管理に役割を担っています。今年目標は『生きがい活動の推進』ということでした。

十名の社員であつても家族は四十名以上になり、その生活と将来がある訳です。ほんとうに身のひきしまる思いがします。自分の器の小ささでしようが、社員増のたびに重大な決意がありました。利益が生めなくなったとして退社してもらうのでは、あまりに簡単な事です。「死ん

でたまるか」の気持ちがあつたから生きて来れた気がします。しかし、その反動のせいでしょうか、子どもは甘くなつてしまひました。とにかく生きがいがほしくてしかたがありませんでした。愚直な自分に女房はよくがまんをしてついてきてくれたし、ありがたいと思うこの頃です。





④

平和で豊かな 一九八八年を祈り

大滝 安雄さん
(舟打場出身・45歳)

故郷の皆様、あけましておめでとございます。昨年にも増



して良い年でありますよう皆様と共に心からお祈りいたします。新年にあたり、東由利町のご厚情により毎月「広報ひがしゆり」「議会だより」を送っていただいておりますことに、心より厚くお礼申し上げます。町を離れて生活しております

我々にとり、町政の実現を目の当たりに拝読させていただいていることには感銘深いものがあります。道路や公共施設の整備、教育や福祉対策の充実など、昨日より今日、今日より明日へと明るく住み良い町づくりが進んでおりますことに、新しい歴史を見る思いです。また、毎月の出来事からは知人、友人、先輩、後輩などの活躍しておられる様子が伺われ、懐かしう楽しく拝見させていただいております。東京東由利会も町当局、先輩諸氏のご指導並びに会員のご協力により、会員数二百名以上と

益々発展しております。昨年十一月八日には会員相互の親睦を兼ね日帰りバス旅行を実施しました。行き先は栃木県水戸階楽園と茨城県袋田の滝で、大型バスに満員の六十名が参加しました。車中ではお国なまりの方言が飛びかい、変わりゆく町の姿について語らい、子供当時の思い出話に花を咲かせ、またお酒が入ると当時の唱歌やふるさとの民謡も出るなど、故郷東由利に帰省するような楽しい気分はバス二台でと皆張り切っております。

東京地方も十二月の六日と十三日に、この季節としてはめずらしく雪が降りました。故郷東由利はいま一面が真っ白の銀世界で、春の雪解けを心待ちにする人も多いことと思います。今年は、農産物の自由化や円高の影響など益々厳しい年明けとなりましたが、故郷の皆様方には健康に十分ご注意ください。一九八八年が平和で豊かな年となりますようお祈りし、筆を置きます。

◇ お住い ▼ 東京都立川市栄町四の三十一の十二

〽〽〽情報コーナー

アマチュア無線技士

試験案内

試験種類 電話級及び電信級アマチュア無線技士

受付期間 2月1日～2月25日

試験日時 4月1日～4月2日までの指定する日時

試験会場 秋田市文化会館

試験手数料 2千3百60円

受験希望者は(財)無線従事者国家試験センター東北支部(〒980仙台市中央町4丁目9-3・☎022-2221-4146)にお問い合わせください。

元日、八塩山に登りませんか!!

田代地区の有志では毎年元日に八塩山に登り、頂上の神社に参拝しています。同有志では今年も登山を計画し、希望者はぜひ一緒にどうぞと呼びかけをしていますので、同行を希望する方は元日の朝午前9時まで、石高の阿部勇

さん宅前にお集りください。なお、天候が悪いときは中止することもありますので、登山の有無についての確認は当日、石高の小松賢さん宅(☎69-3533)にご連絡ください。

1月13日 午前9時30分 ※内容
第3回 会場 中学校 サッカーグラウンド



※主催 東由利町青少年健全育成町民会議
東由利町教育委員会
東由利町連合PTA
※後援 東由利町



みそづくりにとも
新時代の感覚を!

保健婦・小松友子

正月を迎え、華やかなおせち料理とともに、納豆汁が登場してくる家々もまだ多いのではないだろうか。ごはんを調和し、具の変化を味わいながらすすめる熱いみそ汁は、心まで暖まるようなやさしさを感じます。ところで昨年の六月から十二月にかけて各地区の愛育班でみそ汁の塩分測定が行われましたが、以前からすると

若さの秘密

わたしの場合

落語家

落語協会会長

柳家小さん

剣道は

人生の張り合い

私の健康法といえば、これは剣道ですな。趣味というよりは、年を重ねるごとに生きがいになってきましたね。

剣道を始めたのは、たしか十三歳くらいときです。それからこれ六十年近く竹刀を振ってきたわけですよ。ほんとは警視庁の剣道師範になりましたと、せっせと研鑽を積んだ若い時代もあったんですが、どういふわけか、剣道家になっちゃった。ただ剣道を人生の張り合いにできたことは、ほんとによかったですよ。

好きが高じて

道場をつくる



落語家に運動はそれほど必要ではないんですが、剣道は精神の面にもすこぶるいいんですな。寒い日でも道場に出て、面頬つけて打ち合えば、しぼるほど汗が出るし、からだの隅々までシャキッと生れ変わったような気持ちになれる。年に関係なくできるというところも、またいいですね、好きですよ。

好きが高じて、ウチに道場をつくり、弟子や孫を相手に打ち合ったりね。これも落語の修業のひとつだ、なんてことまではいわないけれども、精神面と礼儀作法にはよかったですね。

竹刀を振って六十年

朝起きて、ひまがあれば、すぐに道場へ行って素振りや居合を三十分ほどやる。それから朝風呂へ入るんです。といつても、私の風呂はカラスの行水で、パツと湯につかってサツとあがるんですよ。これはほんと気持ちいいですな。

剣道で汗をかくと、新陳代謝がよくなって、食欲もわき

ほどよい酒は

健康の源泉

剣道をやったあとに、グツと一杯ひっかけるとお酒は、腹わたにしみわたりますな。うめえのひと言ですよ。

私が酒を飲み始めたのは、ずいぶんと遅い、三十歳をこしてからです。そんなわけでも、若いときに無茶な飲み方をしなかつたから、肝臓はいったって丈夫ですな。というの、カミさんがまだピンピンしてたころは（昭和五十二年逝去）、ゴッブ酒三杯なんて決めた

れちゃってね。行きつけの寿司屋へ行くと、その主人が「師匠、三杯以上はいけません。オカミさんに叱られます」なんていわれる始末でね。

けど、いちいち私のからだを気にかけてくれたカミさんが亡くなったから、こりゃあ、自分で自分のからだをちつとは心配しなくちゃと思つてね。いまは、お酒は一合ちよいとがいいね。不思議と飲みたくないんですよ。ほどよい酒は私にとって、健康の源泉といえますね。

柳家小さん師匠略歴

（やなぎや・こさん）大正四年一月二日、長野県生れ。三歳から東京・浅草で育つ。本名、小林盛夫。

昭和八年、十八歳で四代目柳家小さんに入門。昭和二十二年に真打ちとなり、同二十五年、五代目柳家小さんを襲名。現在、落語協会会長で、五十人の弟子、孫弟子を抱える落語会の重鎮。これまでに紫綬褒章（昭和五十二年）、東京都民文化栄誉章（同五十九年）、勲四等旭日小綬章（同六十年）などを受章。趣味の剣道は北辰一刀流七段の腕前。



⑨

阿部 由佳ちゃん

野田・10か月

法久さんと
真喜子さんの長女



ずいぶん薄口になってきたことがわかります。しかし、同時にアンケートをとり、みその年数やみそのしこみ配分などをみていると、まだまだ改善の余地は十分ありそうです。（只今集計中）例えば年数から見ると、三〜四年のみそを食べている人が大半ですが、一年経ったばかりのみそが一番良いとされていますし、みそのしこみ配分としては、豆一斗に対し、こうじ一・五斗以上、塩は四斗以下としてほしいところです。

このようにみそ汁一つとり上げてみてもその家の食に対する思い入れをみることが出来ます。明日から改善という訳にはいかないにしても、このような身近なところから新時代の感覚を取り入れてみてはいかがでしょう。

戸籍だより

(11/21~12/20届出・敬称略)

お誕生
おめでとう

- 1/6 渡辺 侑宏 (建二・二男) 向田
 1/6 木嶋 沙織 (博子・二女) 袖山
 1/6 遠藤 翔 (治平・三男) 十二ノ前
 1/6 佐藤 裕基 (幸基・二男) 寺田
 1/6 畠山 照未 (安弘・長女) 上通

ご結婚
おめでとう

- 1/25 岩井 克己 (蔵新田)
 1/25 工藤 愛子 (本荘市)
 1/21 濱田 功 (時雨山)
 1/21 菅原 不二子 (時雨山)
 1/28 阿部 寿之 (蔵)
 1/28 伊藤 鈴子 (本荘市)
 1/28 遠藤 利彦 (五海保)
 1/28 小野 信子 (上里)

ごめい福を
お祈りします

- 1/28 遠藤 吉蔵 (89 サキエ・夫) 下吹
 1/28 今野 シゲヨ (89 易雄・母) 新町
 1/28 高橋 喜久治 (73 ハツエ・夫) 館合新田
 1/28 佐々木 克己 (72 タエミ・夫) 中通
 1/28 遠藤 博 (65 ユリ・夫) 下小路
 1/28 遠藤 仁太郎 (84 健一・父) 祝沢
 1/28 遠藤 ユキエ (81 松志・母) 小倉

編集室から

▶先月横渡出身で埼玉県在住の阿部功さんから「広報の郵送料にして、父(喜代次)の名でお送りします」と現金1万円が届けられました。ありがとうございました。また同封の便せんで「広報ひがしゆりを町外でどれだけの人を読んでいるのか」との質問がありましたのでお答えします。▶印刷部数は2,630部で約1,730部を町内、約900部を町外に、このうち約750部は県外に配布しています。県外のうち約8割は関東方面です。

郷土の野草



ツチアケビ (ラン科)

(34)

北海道札幌以南、九州までの比較的深山の陰湿地に生える無葉ランで、本町でも方々の山に見られます。

「ヤマノカミノシャクジョウ」とか「ヤマシャクジョウ」などの名もあります。「シャクジョウ」というのは、僧や修験者が持つ杖のことで、歩くときにこれを引きずって音を出し、毒虫を追い払ったり、門口に立ったことを知らせたり、調子をとるのに使ったものですが、これらの名は、まだ実をつけない時の茎のようすから名づけたものです。6月ごろ枝に多数の黄褐色の花をつけ、秋に紅色の肉の厚いアケビの実に似た果実を地上からあまり高くないところに下げます。そのことからツチアケビの和名がつけられたのでしょう。この草も強壯、利尿に効果があるといわれ、果実を日干しにして1日量10gを約2合の水で煮て服用するとよいといわれます。(小松忠正)

(12月号文中、ヒデ毛はヒゲ毛の誤植でした。)

催し

- 5日・蔵地区移動町民室(大蔵館・13時30分)
 6日・消防出初式(健康増進センター・10時)
 7日・老方地区町政座談会(老方館・13時)
 8日・ことぶき大学・異世代交流(有隣館・9時)
 12日・乳児健康相談(有隣館・9時30分)
 21日・不用犬捕獲日
 25日・法内地区成人病予防学級(克雪センター・9時30分)

善意

- 町社会福祉協議会へ
 ▼ご芳志として遠藤寅雄さん(下吹)、今野易雄さん(新町)、遠藤健一さん(祝沢)、高橋勝美さん(館合新田)よりそれぞれ金一封が届けられました。
 ▼クリスマスプレゼントに替え谷口圭一さん(上通)から金一封が届けられました。
 どうもありがとうございました。

町民の声を町政に
 町長面会日 今月 20日

町の冬二統計 12月 (11/1~11/30)

- 人口()は前月比 ()は1月から累計
 ・男 2,982人(3)
 ・女 3,085人(5)
 ・計 6,067人(8)
 ●世帯数 1,453世帯(3)
 ●出生 3人(47)
 ●死亡 2人(45)
 ●転入 11人(90)
 ●転出 6人(164)
 ●結婚 5人(18)
 ●離婚 1人(2)

- 火災発生件数----- 0件(3)
 ●救急車出動件数--- 5件(89)
 ●ゴミ処理量----- 30t (381)
 ●健康増進センター利用者数 505人(8,664)
 ●町営テニスコート利用者数 28人(2,530)
 ●有隣館利用者数--- 2,523人(14,591)
 ●朋楽荘利用者数--- 1,679人(8,339)
 ●交通事故発生件数 2件(18)
 ・死者----- 0人(0)
 ・傷者----- 1人(17)
 ●飲酒運転違反者--- 0人(2)
 ●酒気帯び違反者--- 1人(6)